

## 2010年イタリア紀行

### 行程

9/13 Day 1: 12:05 成田発 (Alitalia 航空) - 18:10 ミラノ・マルペンサ空港着

岩崎さん手配の出迎えベンツにて Sordevolo のユーロヴィレッジへ

岩崎さん御夫妻用意のパスタ、ワイン、チーズ、サラミで夕食

以降、ユーロヴィレッジの Ca' di Toti に 9 泊

9/14 Day 2: 終日岩崎さんのガイド

Biella のカフェでイタリア式朝食 (ブリオッシュ & カプチーノ)、気分はイタリアン!

市内回遊 (MOSCA さんほか)

Europcar でカーレンタル、マニュアル式は 30 年振り

昼食は Sordevolo のレストラン

Monte Mucrone の山小屋にチーズ作りのマルガリを訪問、チーズ購入

夕食は岩崎邸に招待され、同じく日本からの白井さんチーム 3 人とジョイン、ご主人の

Claudio さんの手料理に舌鼓! 季節の Funghi Porcini を満喫。

9/15 Day 3: レンタカー+カーナビでの自立活動開始

午前、Biella の MOSCA さんでお惣菜+チーズ&サラミを買い込み

一旦帰宅し、午後再度 Biella へ、スーパーで食料品・日用生活品の買い出し

以降、Biella 通いの折りにはスーパー地下の大駐車場利用

Biella 市内散策、Funiculare (ケーブルカー) で丘の上の旧市街へ



9/16 Day 4: 午前、MOSCA さんへ

午後、岩崎さんのガイドで BOSE 修道会見学

9/17 Day 5: 午前、Biella のスーパー Esselunga へ

昼から、Santuario di Oropa へ、ランチ (ポレンタ) の後で、黒いマドンナを見学。

細く、曲がりくねった道が続く山道のドライブに苦勞、脂汗・冷や汗

9/18 Day 6: 午前、Biella

MOSCA さん、Mister Nic (カシミアセーター購入)。町なかで岩崎夫妻に二度遭遇

午後、Sordevolo 村散策、教会見学、La Passione Museo 見学

夜 9 時より La Passione di Sordevolo 観賞、12 時まで。前半小雨、寒し。

**9/19 Day 7:** 初めて車ででの外出なし、終日 Sordevolo で休養  
10時半 Sordevolo 教会のミサ出席、午後、村散策、写真撮影



**9/20 Day 8:** Aosta ヘドライブ、古代ローマ帝国遺跡観光  
午後、Biella に戻ってスーパーで買い出しして帰宅

**9/21 Day 9:** 翌日のミラノへの移動準備

Biella 観光局で Europcar 事務所から Novara 駅までの車を手配  
Sordevolo から Europcar 事務所への返却ルート確認(予行演習)  
MOSCA さんで最後の買物(お惣菜、チーズを真空パック、Mario さんに御礼とお別れ)

**9/22 Day 10:** 10 時に Sordevolo のユーロヴィレッジをチェックアウト、Europcar で車返却  
ベンツのタクシーで Novara へ(約 50 分)、電車でミラノへ(約 40 分)、  
ミラノ中央駅からは徒歩 5 分で Una Hotel Century にチェックイン、16 階で眺めよし  
午後、ミラノ観光&土産物買物、夕食はトラットリアの Happy Hour で軽食

**9/23 Day 11:** 終日ミラノ観光、Duomo、Rinascente デパート、市内観光バス  
夕食はホテル近くの Osteria で地元料理、Norcia 産の黒トリュフ沿えステーキ、豪遊

**9/24 Day 12:** ミラノ中央駅よりシャトルバスで空港へ  
14:00 ミラノ発、アリタリア航空で 翌日(9/25) 9:25 成田着



### **\* Biella の街**

観光地としての観光地域・ショッピングエリアが集中していて便利。丁度いい穏やかさ、静けさ、広さ/狭さ。町行く人々、車の運転も穏やか、都会の慌ただしさも無く落ち着く。滞在中ほぼ連日通った。

### **\* Sordevolo 村**

アパートの窓からの眺め(緑の山々と赤い屋根、その上には真っ青な空)は申し分なし！村の中心街villagio centroは狭い区域だが、可愛い街並み、よろずやといった感じのミニスーパー、小ぶりながら可愛いパン屋等々、「イタリアの小さな村」のイメージにぴったり。石畳の旧地区が villagio centroらしく散策向き、教会を中心とした広場は正にヨーロッパ。山の村らしく、村の端から端までで標高差があり、アパートからの上りはきつかったが、高い地区からだと思えば晴らしがよい。



### **\* レンタカー**

マニュアルトランスミッションに苦勞、次回は空港でオートマチック車にする。

ロータリーは慣れれば楽しいし、便利。車での行動の自由さはイタリア滞在を変える。

車の運転にカーナビは大きな力。今回の滞在中、カーナビの威力を実感、カーナビさえあれば、地図がなくとも(地図を頼るよりも正確に)どこへでも行ける(ような気がする)。

### **\* La Passione di Sordevolo**

今回の旅のハイライト、「来て、見て、よかった！」

村民の手作りの楽しさ・喜び・達成感が感じられた。特にイエス・キリスト役は、寒い雨に打たれて、主イエスの受難を誰よりも身近に感じたのではないだろうか。見ているだけでも寒かったが、3時間があっという間。本当は見るより出演するほうが楽しいのだろうが。岩崎さん手配の席も非常に見やすい好位置。Museo で購入したDVDを帰国後に見て感動新た。5年後にもまた見に来たい！

### **\* Euro Village - Ca' di Toti**

アパートは部屋が広く、設備も十分で滞在中に快適、料金もリーズナブル。ホテルと違って、ゆったりと暮らして過ごせるのが魅力、すっかりくつろいだ。今後の旅もアパート滞在型が好ましい。ただ、ここは村の中心への道が車の往来が意外に多く、散策歩きには適さず。車アクセス+徒歩散策の最適化が思案のしどころか。鍵の多さに驚き！単なる習慣か、それともセキュリティがそんなにも問題なのか？

### **\* 自炊**

食器や調理道具がすっかり揃っているのが有難かった。好きな時に(イタリアのレストランは夕食の開くのが遅いので便利)、好きな量だけ食べられることが我々に好都合。

自炊生活用に日本より持参すると便利なもの: 箸、ペティナイフ。他は現地調達可能。



### **\* MOSCA**

9 泊の間に 5 回通った。商品の品ぞろえ以上に、「ハッピーな店員」が魅力。店員が満足して働いている店は、客からみて実に楽しく嬉しい。店員が自主的に休日出勤するという岩崎さんの話に驚いたが、実際に店へ通って納得がいく。岩崎さんが「MOSCA さん」と「さん」付けで呼ぶ気持ちにも同意。我々夫婦の間でも、すっかり“MOSCA「さん」”で定着。

### **\* スーパーEsselunga**

野菜・果物の量り売りのセルフ計量・シールの効率性は非イタリア(?) 的だが便利さに感心。自炊生活が大いに助けられた。バジルはパックではなく鉢植えで売っているのに驚く。地下の駐車場は毎日利用。

### **\* マキネッタ**

使い方を覚えて、すっかりお気に入り、新たなコーヒーライフを発見。帰国後に早速に Bialetti の Moka Express と、小さいカップを購入し、ミラノで購入してきたコーヒーを毎食後に楽しんでいる。

### **\* チーズ**

Piemonte 州名産の Toma チーズと、Biella 特産の Maccagno を MOSCA さんで購入、どちらも日本にはない美味。滞在中、毎晩、サラミ、生野菜と合わせて夕食に食べた。土産用にも真空パックで購入(次回はもっと大量に!)。マルガリの方から購入したチーズはモッツアレラのようなだったが食べきれなかった。

### **\* サラミ**

地元名物の Salame Sotto Grasso 脂っぽいが、ソフトで美味。日本でのサラミとの違い大。次回は真空パックで買って帰りたい。Biella 名産の Paletta ハムも美味。

### **\* ワイン**

到着日に岩崎さんが用意してくれた Grignolino は あっさり色のみかけに反してしっかりしていて、飲むほどに美味しさが増す。いただいた 2 本目を後日味わい楽しんだ。また、ボトルの厚さ・頑強さが別格、スパークリング並み。家内が Grignolino をす



っかり気に入って、帰国後にネット等で探索中。他は主に MOSCA さんで5~10ユーロのワインを購入したが、どれも楽しめた。日本に輸入されるワインは千円台のものはプラスチックキャップが多いが、こちらでは500円程度のワインでも本物のコルクなのが嬉しい。

### **\* その他地元料理**

Risotto は岩崎邸での Porcini 入りのほか、Biella と Milano で食べて毎度満足。ミラノのデパートで現地米(1kg)を購入、重かったが帰国後に家内が作ってみて、日本で作ってみても日本米と違う。

ポレンタとニョッキはどちらも納得いったが、一回で十分。スーパーの野菜がどれも新鮮で美味しい。トマトと人参を大量に食べた。Biella 観光組合推薦の Osteria は店の雰囲気も料理もグッド。赤オレンジジュース、牛乳が日本にはない美味さ。

### **\* マルガリ**

牛の餌の牧草を求めて移動する牧畜(主にチーズ作り)の人々、夏の間だけ山の上の小屋で暮らすそうだが、厳しい暮らしの中で素敵な笑顔の親子に出会えた。ガイドの岩崎さんのおかげで普通の旅行では出来ない貴重な経験に大満足。搾りたてのミルクを飲ませていただき(美味しい!)、その小屋で作ったばかりのチーズを購入できたことも嬉しかった。

### **\* Satuario di Oropa**

寒さと霧のため長居できず残念、黒のマドンナだけ見学。でも印象的、機会があればゆっくりと再訪したい。次回は Biella からの広い道で。敷地内レストランでのランチでポレンタを初めて食した。

### **\* Monastere de BOSE**

20 世紀後半に新たな修道会が誕生したことに驚き、現代の修道会として従来からの修道院との違いはもともと。現代の人々にアピールする要素大。ただ、建物はイタリアンというよりも、明るい California 風。

### **\* Aosta**

古代ローマ帝国遺跡は、ローマのものほどの美しさ・迫力感はなし。ただ、その遺跡の中に現在の暮らしのあることは驚き。車運転の不安からアルプスまでは足を伸ばせず残念。次回は泊りがけでもって、是非モンブランまでも足を伸ばしたい。

### **\* 都市間移動**

Sordevolo からレンタカーを Biella で返却、そこから Novara までタクシー (Biella からだと乗換えがあるので)、Novara から鉄道でミラノへ、駅からは徒歩で、合計約 3 時間。大きな荷物を抱えての移動は厄介なので、車での移動が不安なく出来るようになるとベター。

### **\* 教会**

Sordevolo には7つの教会、Biella にも多数、周辺の見学・観光も聖地、ミラノには無数の教会あり。全てが常

時開放されていていつでも入場可能。自由に祈れるし、時間が合えばミサにも参列できるのが嬉しい。旅のあいだ、何度も祈りと休息に立ち寄った、イエスキリストを身近に感じられる、朝夕のミサに参列する人々にとって生活の一部になっていることが理解できる。どの教会も立派な建築で美しい。

### **\*ミラノ観光**

小さな村で 10 日過ごした後のミラノは、大都会の喧騒・人いきれ等に圧倒される。観光としては Duomo と、市内観光バスで堪能。教会とレストランの多さが印象的。10 年前と今回の観光で十分、次回は空港と郊外・村々だけで十分。

### **\*総合所感**

- ・一番の目的だった「田舎の村滞在」は十分堪能でき、夫婦共々、大満足。 Sordevolo は静かで穏やかな村、緑と山と赤い屋根と真っ青な空が印象的で、正に「イタリアの小さな村」そのまま。アパートは十分な広さがあり、自炊も洗濯も出来るのが有難い。ホテルにはない「生活」を味わえた。
- ・受難劇 La Passione di Sordevolo は感動的で、急いでこの時期に旅した価値あり。5 年後また！
- ・今後は都会は避けて田舎の小さな村を中心に旅したい。数日ずつ数か所に滞在するのもよし、或いは、一か所を拠点にして、一泊乃至二泊のショートトリップの組合せでもいい。Monte Bianco、Orta San Giulio、Santuario di Varallo、Asti、Alba(白トリュフ)、Oropa 再訪、等々、次のイタリアの旅もピエモンテ州になりそう。
- ・滞在する宿の選択は、村の選択と合わせて村の中での位置も重要、村の中心部へアクセス、散策歩きの安全さ等も考慮が必要。Euro Village を再訪する時には別の村についても岩崎さんに相談。
- ・滞在することで、食料品・日用品の買物をしたりと、現地の生活を体験できた。車で 15 分ほどに Biella という十分に大きな町があることが便利だった。今後も滞在型がいいなあ。
- ・移動には車の便利さが大きいので、今後もレンタカーを利用。楽に運転するために、次回は空港でオートマチック車(出来るだけ小さいサイズ)を借りる。プラス、カーナビがあれば万全。知らない異国でカーナビの威力に感動、地図を頼りにするよりか、どんなにか当てになり心強い。
- ・気候は、暑からず、寒からず、恵まれた。
- ・食事はレストランでの外食は少なかったが(Sordevolo 滞在中は僅か二回)、自炊でイタリア食事を楽しんだ。ワイン、チーズ、サラミ、生野菜を常備したうえで、MOSCA さんのお惣菜、パスタ、パン、果物等。スーパーで買ったステーキ肉は値段の数倍も美味しかった。ピエモンテ牛に敬礼！
- ・岩崎さんという現地の方に出会えたことが幸運(ネットのおかげ)、これまでのように全て自立というのではなく、現地の方に色々と助けてもらえたことは、どんなにか心強く、また有難かった。べったりではなく、必要なポイントでのガイド、手配、情報提供等々、要所要所で助けられた。
- ・イタリア語をしゃべれないもどかしさ！次回までには、少しは会話できるよう勉強！